

■令和2年度執行目標 上下水道部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	背景・課題・留意点等	項目 (単位)	根拠計画等	R1 実績値	R2 目標値
上下水道部	水道業務課	1	水道料金及び公共下水道使用料審議会の開催	「安心・安全な生活と快適な暮らしを支える水道」を将来にわたって維持するため、経営基盤強化について検討する。	令和元年度に水道料金及び公共下水道使用料審議회를立ち上げ、水道料金のあり方について令和元年8月1日付けて諮問し、財政分析や浄水場の現地視察などを行った。令和2年度では、3回の審議회를予定している。(第4回審議会を5月に予定していたが、新型コロナウイルス対策のため8月に延期する。)	審議会開催回数(回)	木津川市新水道ビジョン	3	3
上下水道部	水道業務課	2	水道事業広域化・広域連携の検討	京都府南部圏域(1府8市7町1村)における水道事業広域化・広域連携について研究する。 【京都府南部圏域構成事業者】 京都市、宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村、府営水道	令和元年度に京都府水道事業広域的連携等推進協議会が設置され、幹事会などに参加した。	協議会及び幹事会出席回数	木津川市新水道ビジョン	1	2
上下水道部	水道業務課	3	上下水道部組織見直しの検討	上下水道の経営基盤強化と危機管理体制の充実を図るため、上下水道部組織の見直しを検討する。	上下水道は、これまで管路布設や施設建設を中心に事業を進めてきたが、今後は老朽化による漏水事故や故障を未然に防ぐために維持管理や施設更新が重要となるため、上下水道部組織の見直しが業務の効率化に繋がるか、否かを検討する。また、災害や感染症等に備えた危機管理のあり方も含めて検討する。	部内検討会回数	木津川市新水道ビジョン	-	4
上下水道部	水道工務課	1	布設水道管の更新整備	経年劣化している水道管(石綿管含む)の更新整備を進めていく。	老朽化の進んだ埋設管を更新し、災害に強い管路を構築する。(更新計画期間H28年度～R2→3年度) 計画総延長4,680m 前年度までの更新済延長4,395m 令和2年度予定延長150m 当初の計画期間は5年であったが、関連工事(下水)の進捗に合わせる為に1年延長見込。	工事施工延長(m)		1,095	150
上下水道部	水道工務課	2	山城浄水場の更新	山城浄水場の全面更新を実施するため、浄水施設更新の基本設計と浄水場の新たな深井戸水源の確保をするための基本設計を行う。	山城浄水場の管理棟が耐震診断では補強が困難であると判断されたことから、上水道の安定供給のため、2019年3月に策定した「木津川市新水道ビジョン」に従い、山城浄水場の全面更新に取り組む。		木津川市新水道ビジョン		
上下水道部	下水道課	1	汚水処理施設の概成	汚水処理施設の早期概成に向け、未普及箇所の公共下水道整備を図る。	京都府水洗化総合計画では令和2年度概成を目標としているが、整備効率などの要因により遅れが生じている。	普及面積(ha)	公共下水道事業計画	8.1	6.1
上下水道部	下水道課	2	ストックマネジメント支援事業の推進	下水道施設全体をとらまえて、中長期的な状態を予測し計画的かつ効率的な管理を行い、改築費用の低減や平準化を図る。 令和2年度では、加茂浄化センター更新設計、マンホールポンプ更新設計、管路点検調査を行う。	令和元年度に木津川市下水道ストックマネジメント計画(簡易版)を改定し、標準耐用年数を超える機械・電気設備等の施設更新計画を策定した。	管路点検調査(km)	木津川市公共下水道ストックマネジメント計画	-	2.3
上下水道部	下水道課	3	木津川市公共下水道事業の経営基盤強化	木津川市水道料金及び公共下水道使用料審議会を開催し、「下水道使用料のあり方」について審議会に諮問し使用料の適正化を図る。	木津川市公共下水道事業は、平成29年度より地方公営企業法の財務規定を適用、公営企業会計に移行し経営の透明化や、効率的な施設整備、老朽施設への投資の平準化などを行っているが、さらなる経営基盤強化を図る必要がある。	審議会開催回数(回)	木津川市公共下水道経営戦略	-	3